



国際eパッケージライト

Copyright(C) 2017 Keisuke All Rights Reserved

Lists - 国際eパケットライト

1

発送元と発送先

[P3](#)

2

SAL便との比較

[P4](#)

2

利用時の注意点と用途

[P5](#)



1 - 発送元と発送先

2016年10月1日から、日本郵便の海外向けの発送方法が1つ追加されました。

国際eパケットライトというものです。

【国際eパケットライト 公式】

http://www.post.japanpost.jp/notification/pressrelease/2016/00_honsha/0825_02.html

発送元と発送先は限られています。

- 対象国：6か国

(米国、香港、韓国、シンガポール、ベトナム、ニュージーランド)

- 発送元：東京都内の22局

(新宿、中野北、成城、東京国際、杉並南、本郷、神田、上野、浅草、豊島、大森、渋谷、世田谷、板橋、中野、日本橋、千歳、赤坂、葛西、麴町、足立及び東京多摩郵便局)

2 -SAL便との比較

eパッケージは航空便扱いなので大体7日～10日で到着しますが
今回のeパッケージライトはSAL便扱いなので2週間～4週間かかります。

どちらかというと、小型包装物SAL便と比べた方がよさそうですね。

小型包装物SAL便と比較すると

- ・ 重さや大きさ制限は同じで3辺 90cm以内・2kgまで。
- ・ 追跡は出来ても受け取りのサインは無し。
- ・ 月にたくさん出しても割引はない。
- ・ 紛失や壊れたときの補償金は付けられない。
- ・ 送料は小型包装物SAL便と比べて大体100円ぐらい安い。



3 -利用時の注意点と用途

ケースオープン・・・

eパケットライトは

「追跡番号で商品到着となっているのに、商品をうけとっていない」とケースオープンされたときに返金するしかありません。

紛失・・・

また、紛失したときに

小型包装物SAL便やeパケットなら6,000円まで補償がつきますが、eパケットライトは補償が付かないので、商品代金が戻ってきません。

適切な使い方・・・

利益をきちんと確保するような商品ではなくて、評価稼ぎ用の、紛失覚悟で送るような安い商品に使用するなら良いかもしれませんね。

